

こんなメリットもあります！

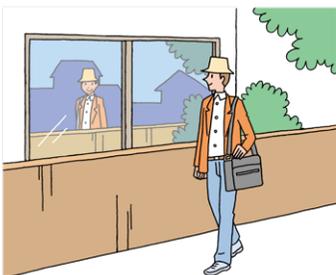
カビ対策も できる

カビ・ダニ抑制、健康的な住環境の維持、メンテナンスコストの削減につながるというメリットがあります。



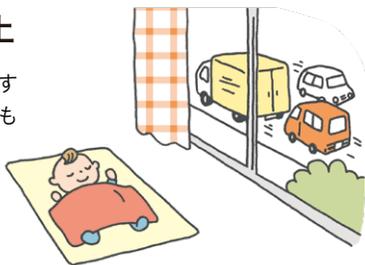
明るさと プライバシーを 両立

日中、外から室内が見えにくいため、プライバシーの確保につながり、カーテンなしでも明るさを保てます。



防音性の向上

防音に配慮した窓にすることで、騒音の悩みも軽減できます。



入居者に聞きました！

毎日、気持ちよく過ごせるようになったことが、一番のメリットだと感じています！

千葉県在住・Kさん

強 い日差しによる家具への影響が悩みでしたが、窓の断熱リフォームを行った後はあまり気にせず済むようになりました。特に南窓はカーテンなしで過ごせるようになり、部屋が明るくなりました。

また、冬は寒くて全く使えなかった北側の小部屋も、窓断熱リフォームで寝室にできるほど快適な空間に生まれ変わりました。以前は夏冬ともに過ごしにくかったのが嘘のようです。

何より、窓のリフォームを行うことで部屋全体の見た目が良くなったのが嬉しいです。以前は隠したかった窓が、今では部屋の素敵なアクセントになっています。



手軽に実施可能&満足度も非常に高い
窓断熱リフォーム！

窓の断熱リフォームを実施した
消費者の約95%が、『満足*』と答えています。

※先進的窓リノベ2024事業を活用した消費者向けの調査(環境省実施)の結果による。



■どちらともいえない5%
■不満0.1%

冬の窓辺も快適になった／西陽がやわらいだ／空調の効きが良くなった／防音効果が高まり静かになった／電気代が下がった・・・など、**快適性向上・省エネ効果**を実感する声が多く寄せられました。

集中支援期間の
最終年です！



先進的窓リノベ2025事業

- 概要** 高い断熱性能を持つ窓への改修に関する費用の1/2相当等を定額補助(上限200万円)
- 対象者** 令和6年11月22日以降に「リフォーム工事」に着手した方
- 受付期間** 令和7年3月下旬～予算上限に達するまで(遅くとも令和7年12月31日まで)
※申請(一括)は5月30日開始予定。

先進的窓リノベ2025事業事務局サイト
<https://window-renovation2025.env.go.jp/>



環境省では、窓の断熱改修を含め、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を進めています。詳しくはこちら。



戸建住宅に
お住まいの方必見！

戸建住宅の

窓断熱 リフォーム のメリット！

熱中症・カビ対策編



環境省
Ministry of the Environment

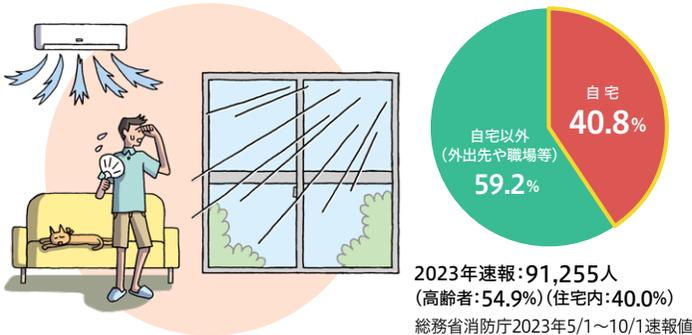
今なら補助金*
*先進的窓リノベ事業など

*先進的窓リノベ事業など

窓リノベで、熱中症・カビ対策！ 快適な住まいへ

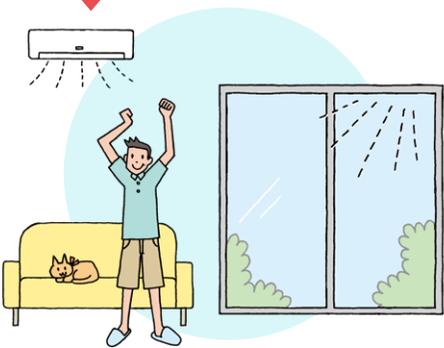
熱中症救急搬送の4割は住宅内！

救急搬送される熱中症患者の約4割は、屋外ではなく自宅で発生しているというデータがあります。家庭内でも油断せず熱中症対策を講じることが重要です。



窓断熱リフォームを実施すると

窓の断熱性能を高めることで熱の流入を抑え、屋内の快適性を維持しやすくなります。冷房効率も向上するので、省エネを実現しながら熱中症対策を図ることが出来ます。



更に効果UP! 窓断熱リフォーム×シェード・すだれ

窓の断熱リフォームに加え、シェード(オーニング)、すだれなど日射遮熱対策を併用すると、さらに省エネで快適な暮らしが実現できます。



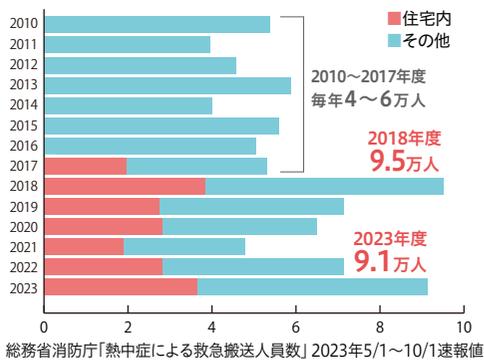
MINI COLUMN

一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター
理事長 伊香賀 俊治氏

熱中症の予防には断熱リフォームが有効

熱中症による救急搬送人数は、2010年頃には年間4万人から6万人程度でしたが、2018年に気象観測開始以来の猛暑が来たときに、一気に9万5,000人まで増えました。実は、熱中症の救急搬送人数の4割が住宅内で発生しています。また、搬送者のほとんどが高齢者です。これを防ぐためにも、断熱が重要な役割を果たします。住まいの断熱性能が良いと、夏の高温が室内側に入るのを抑えることにより、冷房が効きやすくなるので、断熱改修は熱中症の予防にも効果的なのです。

熱中症による救急搬送人員数[万人/年]



先進的窓リノベ事業を活用して

窓断熱リフォームを実施した方に話を聞きました!

夏は涼しく&冬暖かく、光熱費も大幅に削減!

戸建住宅にお住まいの永春さん(左)
リフォーム業者の木村さん(右)



孫の笑顔も増え、見違えるほど快適に。

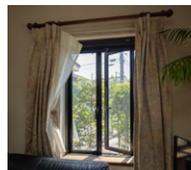
戸建住宅にお住まいの小泉さん(右)
窓卸事業者の齊木さん(左)



窓の結露や冬の寒さ、夏の暑さに以前から悩んでいたのですが、新聞で窓断熱改修による効果の記事を目にし、興味を持ちました。補助金を活用して、最初はリビングと寝室を中心に内窓設置を行ったのですが、その効果を実感したことから、翌年に他の部屋の窓断熱改修も行いました。

改修後のいちばんの成感は、冬場の結露がなくなったこと。毎朝の拭き掃除から解放され、真冬でも室内が10℃を下回らなくなりました。さらに、灯油の使用量が半減し、暖房に掛る費用を大幅に削減できました。また、夏は窓からの強い熱気を感じなくなり、快適になりました。

補助金の後押しがある今こそ、多くの方にすすめてみたいと感じています。

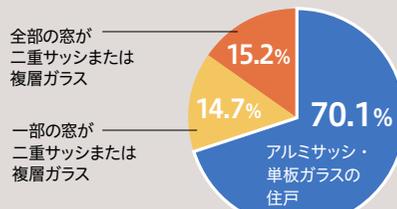


冬の室内の寒さや夏の西日の暑さに昔から悩んでいました。正月に孫たちが遊びに来た際、室内でもダウンジャケットを着ないと寒いと言われたことから「何とかしたい」と思い、補助金を活用して居間に内窓設置を行いました。

改修後の正月に再び孫たちが遊びに来たのですが、上着を脱いで、なんとTシャツ姿で過ごしており、「やって良かった!」と心から思いました。普段の生活でも、以前とは比べ物にならないほど快適になり、心地よくて居間でうたた寝してしまうほど。また、つらかった夏の西日の暑さも軽減されたことや、屋外の騒音が聞こえにくくなり静かに過ごせる効果も実感しています。孫たちが喜んで来てくれる、快適な居間になったと思います。



窓断熱リフォームは、光熱費の削減につながります!



日本の住宅の約7割は窓断熱がない住戸!!



窓断熱リフォームを実施すると、光熱費の削減が期待できます!

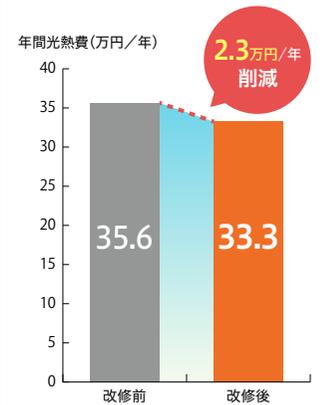
約2万円/年

窓断熱リフォームを行った事例動画もぜひご覧ください。



環境省 youtube チャンネル
「先進的窓リノベ 2024 事業活用セミナー」
特集動画④(戸建住宅編)

S55基準*の戸建住宅における削減効果



※昭和55年当時の省エネ基準で建築された住宅

【試算条件】

- ・延床面積120㎡の2階建木造住宅、地域区分6(主に関東~九州等)・昭和55年基準の戸建住宅において、グレードSの窓(熱貫流率Uw=1.5)への窓断熱リフォームを実施した際の光熱費削減効果について、WEBプログラム(住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム)により試算したものです(電気代は東京電力及び東京ガスの2023年3月時点の料金表を用いて計算)
- ・上記は、延床面積や地域区分、電力会社の契約内容や料金の変更等により変動しますので、目安としてご利用ください。
- ・試算の詳細及び他の条件による試算結果などは、「先進的窓リノベ2025情報ステーション」のウェブサイトからご確認ください。(http://madorinobe2025-info.jp)